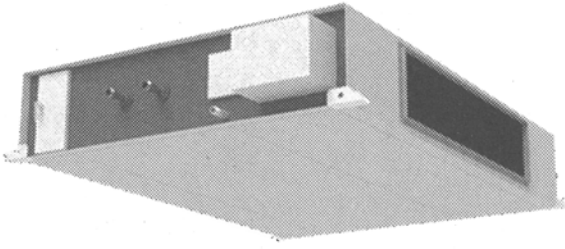


木村工機

冷温水式天埋うす形空調機発売 省力化を考えた新デザインで登場

業務用・産業用空調システムメーカーの木村工機（社長＝木村晃氏、本社・大阪市中央区上本町西5-3-5）は、3月19日、新製品「冷温水式



冷温水式天埋うす形空調機

天埋うす形空調機」の発売を発表した。うす形ケージングに省エネ技術を盛り込み、工事やメンテナンスの省力化を考えた新デザイン。給気風量2千立方メートル／hから6千立方メートル／hまでラインアップする。

同製品の特長について、独自の斜平形槽円コイルとトルネードファンにより、高さを390mmに抑え、従来の天吊コンパクト型AHUと比較して、重量を10割削減（同社比）。天井内に設置することで床面積を有効に活用できる。また、水大温

度差、低温送風設計に対応し、省エネと省設備に貢献する。さらに標準で空調制御を搭載し、オペ

ションで広域エリアの監視も可能。また、5千型以上の熱交換器には3W AY分回路を組み込み、負荷容量9割まで制御できる。そのほか、駆動部（ファンランナーおよびモーター）は下部から容易に引き抜くことができ、保守性を高めている。